

使命、役割

部が浜松市民に果たすべき使命、役割

市民の健康に関して、保健衛生と医療の分野を所管しています。

保健衛生では、感染症や食中毒などから市民の健康を守ること、母子や高齢者、こころの病を持った方への健康対策、予防接種や検診による病気の予防など市民の健康づくりを担っています。

医療では、医療センター、リハビリテーション病院、佐久間病院、夜間救急室での医療の提供や、初期救急、第2次救急をはじめとした救急医療体制の整備、看護師の養成などを行い、市民が病気になっても安心できるような地域医療体制の確保を担っています。

ビジョン

部が目指すべき将来像

生涯を通じた市民健康づくり

乳幼児から高齢者まで全ての市民が、いきいきとした生活が出来るように、検診などの予防対策を進めるとともに、「健康はままつ21」事業の推進により市民が主体の積極的な健康づくりを進めます。

また、少子高齢化をはじめ疾病構造などの変化や多様化する医療ニーズに応じた安全で安心な医療を提供するとともに、市民がいつでも、どこでも医療を受けられるような救急医療体制をはじめとした地域の医療体制を構築します。

経営方針

計画実行の方向性、進め方

心身ともに健康な生活環境の実現

市民の健康づくりの指針である「健康はままつ21」を推進団体と協働して推進します。

地域の医療体制の整備については、医療センターなどの病院経営の健全化を一層進めるとともに、医療関係者や市民のニーズを反映した施策に取り組みます。

また、市民の健康づくりを推進するため、保健指導、疾病の予防、早期発見、早期治療、リハビリテーションなど心身ともに健康な生活環境の実現を目指します。

<p style="text-align: center;">市民(納税者)の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶健康づくりに必要な保健情報を提供し、生活習慣改善などの普及・啓発を行います。 ▶安全安心で、信頼して受診できる医療を提供し、質の高い医療サービスを提供します。 ▶安心で安全な食品の流通の確保を図り、また衛生意識及び知識向上などの普及・啓発を行います。 	<p style="text-align: center;">行政改革の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶保健所支所の再編などにより、保健所の専門性を高め、機能強化を図ります。 ▶病院事業への一般会計からの負担金を明確化し、市と医療公社の責任体制を確立します。 ▶事業の評価・検証を行い、事業成果の向上を図ります。
<p style="text-align: center;">財務・コストの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶少子高齢化の進展などにより、多様化、増加する市民ニーズに対応する予算配分に努めます。 ▶事業のコストを常に意識し、不要な経費は節減します。 ▶患者の安定的確保と経費の節減により病院事業の経営健全化を図ります。 	<p style="text-align: center;">組織・人材の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶多様な業務を多くの職員で執行するため、連絡調整を緊密に行い機動的に対応します。 ▶職員研修を積極的に実施し、親切で高度な行政を担う人材を育成します。

経営資源

平成 21 年度の部の経営に要する資源

◆ 健康医療部の組織

平成 20 年度	⇒	平成 21 年度
健康医療課		健康医療課
医療施策の企画及び調整に関する事項 等		保健医療施策の企画及び調整に関する事項 等
精神保健福祉センター		精神保健福祉センター
精神保健福祉センターの管理運営に関する事		精神保健及び精神障害者の福祉に関する知識の普及及び調査研究に関する事項 等
佐久間病院		佐久間病院
診療に関する事項 等		診療に関する事項 等
看護専門学校		看護専門学校
看護専門学校の管理運営に関する事項		看護専門学校の管理運営に関する事項
保健環境研究所		保健環境研究所
感染症及び食中毒に係る微生物検査及び寄生虫検査に関する事項 等		感染症及び食中毒に係る微生物検査及び寄生虫検査に関する事項 等
新法人設立準備課		新法人設立準備課
地方独立行政法人の設立準備に関する事項 等		地方独立行政法人の設立準備に関する事項 等
保健総務課		健康増進課
人口動態統計その他地域保健に係る事務及びその総括に関する事項 等		健康づくりの施策の企画及び調整に関する事項 等
生活衛生課		保健総務課
食品衛生に係る事務及びその総括に関する事項 等		人口動態統計その他地域保健に係る事務及びその総括に関する事項 等
健康増進課		生活衛生課
地域保健活動の実施及びその総括に関する事項 等		食品衛生に係る事務及びその総括に関する事項 等
保健予防課		保健予防課
感染症の予防及び対策に係る事務並びにその総括に関する事項 等		感染症の予防及び対策に係る事務並びにその総括に関する事項 等
こころの健康対策課		保健所浜北支所
精神保健及び精神障害者の福祉に係る事務並びにその総括に関する事項 等		人口動態統計その他地域保健に係る事務に関する事項等（北区、浜北区及び天竜区に係るもの）
食肉衛生検査所		
と畜場法及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に基づく許可、認可等に関する事項 等		
保健所西支所		
西区における保健所業務に関する事		
保健所北支所		
北区における保健所業務に関する事		
保健所浜北支所		
浜北区における保健所業務に関する事		
保健所天竜支所		
天竜区における保健所業務に関する事		

健康医療部戦略計画 2009 評価レポート

◆ 職員数(平成 21 年度組織ベース) (人数)			◆ 予算規模(平成 21 年度組織ベース) (千円)		
健康医療部職員	H20 年度	H21 年度	健康医療部予算	H20 年度	H21 年度
計	309	305	事業費	5,469,102	5,680,821
部長等	3	3	国庫支出金	704,003	794,554
健康医療課	28	25	県支出金	107,366	219,128
新法人設立準備課	9	13	市債	0	4,600
健康増進課	67	40	受益者負担分	48,263	50,546
精神保健福祉センター	9	10	その他	409,549	425,165
佐久間病院	71	73	一般財源	4,199,921	4,186,828
看護専門学校	17	18	人件費	2,584,000	2,554,600
保健環境研究所	23	36	正規職員(人Ⅰ×8000 千円)	309	305
保健総務課	13	15	非常勤(人Ⅰ×2800 千円)	40	40
食肉衛生検査所	13		再任用(人Ⅰ×2600 千円)	0	1
生活衛生課	24	27	病院事業会計	21,582,011	19,952,103
保健予防課	20	24	うち一般会計	2,262,885	2,394,055
こころの健康対策課	12		介護保険事業特別会計	9,979	10,529
保健所浜北支所		21	うち一般会計	1,247	1,316
平成 20 年度⇒平成 21 年度 増減の理由			平成 20 年度⇒平成 21 年度 増減の理由		
➢ 保健所組織の再編と区健康づくり課新設による減			➢ 妊婦乳幼児健康診査事業の増額		
			➢ 特定不妊治療支援事業の増額		
			➢ 新法人設立準備に伴う増額		
			*事業費は、予算上の人件費を除いた金額		

環境分析

社会経済環境の変化

	機会 (OPPORTUNITIES)	脅威 (THREATS)
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ➢市民の健康に対する意識の高まり ➢市民協働、ボランティア組織の増加と活動の活性化 ➢市民の食物の安全性への強い要求 ➢新たな感染症などに対する関心の高まり ➢医療技術の進歩や医療情報の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ➢少子高齢化の進行 ➢国庫補助金等の削減 ➢医療保険制度の改正や診療報酬の改正 ➢へき地医療機関における医師、看護師不足 ➢医師不足（主に小児科医、産科医） ➢社会環境の複雑化によるこころの病の増加 ➢東海地震の危険性増加 ➢新型感染症の発生の恐れ
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ➢政令指定都市移行による権限の拡大 ➢医療関係団体との良好な関係 ➢分権型まちづくりによるサービス拠点の増加 ➢総合病院をはじめとした医療機関の充実 ➢障害者自立支援法施行による事業内容の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ➢市域の拡大による業務効率、機動的対応の低下 ➢仕事量の増加、業務の多様化による熟練度の低下 ➢市域全体でのサービスの不均一 ➢サービスが固定化し、新たなサービスへの切替えがなかなか進まない ➢自治体病院として不採算医療にも取り組む必要がある

政策体系

総合計画体系

<都市の将来像>

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

<政策の柱>

<分野>

健やかな心身と思いやりをはぐむ共生都市

健康、福祉分野

<基本政策>

<部>

生涯を通じた市民健康づくり

健康医療部

<政策(重点事業)>

<課>

総合医療体制の充実

健康医療課

➢救急医療事業 ➢総合病院移転支援事業 ➢診療所管理運営事業 ➢自殺対策推進事業

精神保健福祉活動の推進

精神保健福祉センター

➢精神保健福祉推進事業

地域包括ケアの推進

佐久間病院

➢浜松市国民健康保険佐久間病院運営事業

看護師の養成

看護専門学校

➢学校管理運営事業

食の安全確保事業の展開

保健環境研究所

➢食肉安全対策推進事業

保健に関する検査・分析体制の推進

保健環境研究所

➢食中毒、感染症検査事業 ➢食品の残留農薬等検査事業

環境監視、測定体制の推進

保健環境研究所

➢大気汚染、悪臭等測定事業 ➢河川、工場排水等水質測定事業

安全・安心な医療の提供

新法人設立準備課

➢新法人設立準備事業 ➢県西部浜松医療センター運営事業

➢浜松市リハビリテーション病院運営事業 ➢メディカルバースセンター支援事業

健康づくりの推進

健康増進課

➢(法定)妊婦乳幼児健康診査事業 ➢(法定)母子訪問指導事業 ➢母子予防接種事業

➢健康診査事業 ➢予防接種事業 ➢健康づくり企画事業

適正な医事薬事の推進

保健総務課

保健所浜北支所

➢医療体制充実事業 ➢保健所等維持管理運営事業

生活衛生対策の推進

生活衛生課

保健所浜北支所

➢食品営業施設等衛生対策事業 ➢食の安全対策推進事業

➢生活衛生関係営業施設等の衛生対策推進事業 ➢家庭動物の動物愛護適正事業

感染症対策の推進

保健予防課

保健所浜北支所

➢感染症対策事業

こころの健康づくりの推進

保健予防課

保健所浜北支所

➢(法定)精神障害者自立支援給付事業

目標

ビジョン実現に向けての目標値〈平成 22 年度を目途とする指標〉

指標		目標				
		実績				
		H18	H19	H20	H21	H22
1	「健康はままつ 21」の普及率 備考: 市民アンケートにおける認知度	—	50%	50%	60%	70%
		45.5%	35.1%	37.8%	33.3%	
2	病院事業3病院の1日あたり外来患者数 備考: 新法人設立準備課調べ	—	1,347 人	1,287 人	1,317 人	1,347 人
		1,355 人	1,260 人	1,230 人	1,247 人	
3	病院事業3病院の病床利用率(救急・休床を除く) 備考: 新法人設立準備課調べ	—	85.3%	88.0%	88.6%	89.1%
		84.9%	74.9%	88.5%	86.8%	
4	医療施設等監視件数 備考: 保健総務課調べ	—	2,000 件	2,000 件	2,000 件	2,000 件
		2,228 件	2,501 件	2,549 件	2,926 件	

重点事業

目標達成に向けて重点的に取り組む手段

①新法人設立準備事業(臨時)	所管名	新法人設立準備課
《事業概要》	平成 21 年度予算	833 千円
<p>県西部浜松医療センターの病院運営について、経営の責任の明確化と独立性・自律性を高めるため、地方独立行政法人化に向けた準備を進めていきます。</p>		
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	436 千円
<p>新法人設立に向けては、医療公社のうちからは正すべきという考えから、医療公社で平成 21 年 7 月に「経営健全化アクションプラン」を作成し、浜松医療センターの経営健全化に取り組みました。また、承継資産の評価結果や企業債残の見込みなどに基き開始貸借対照表(案)を作成し、新法人設立時には市からの多額な財政支援が必要なことが判明したため、市財政負担額の縮減策の検討や更なる経営健全化に取り組むことになりました。</p>		
②感染症対策事業(新型インフルエンザ対策事業)	所管名	保健予防課
《事業概要》	平成 21 年度予算	24,664 千円
<p>新型インフルエンザの出現の危機が高まっており、発生した場合には市民の健康被害・経済的損失は甚大になると考えられています。</p> <p>国・県と連携して、行動計画等の策定を進めるとともに、発生時(高病原性鳥インフルエンザを含む)には、職員による積極的疫学調査が必要となることから、危機に備えた職員研修及び安全確保のための資材等の備蓄を行います。</p>		
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	23,432 千円
<p>平成21年4月メキシコ・アメリカに端を発し、世界的に感染が拡大した新型インフルエンザ対策事業として、患者の早期発見、感染拡大防止に必要な物品(陰圧式テント(2基))の購入、消毒薬・サージカルマスク等の購入及び市民への予防啓発(チラシの配布等)を行いました。</p> <p>また、医療機関と連携して検体確認、患者へのアドバイスに取り組むほか、各医療機関と拡大防止に向けての対策を協議しました。</p>		
③(法定)妊婦乳幼児健康診査事業	所管名	健康増進課
《事業概要》	平成 21 年度予算	768,681 千円
<p>妊婦と乳幼児に対して安全な分娩と健康な児の出産及び乳幼児期における疾病や異常の早期発見と必要な保健指導を行うために妊婦乳幼児健康診査事業を実施します。</p>		
市戦略対象事業	戦略 2	マニフェスト対象事業 I-1
《事業成果》	平成 21 年度決算	754,165 千円
<p>妊婦健診の公費負担助成回数が国の動向を踏まえ5回から14回に増えたことにより、118,681 枚の受診票が使用され、多くの妊婦の経済的負担の軽減につながりました。また、乳幼児健診については、毎年同様の受診率を保持しており、安心・安全な妊娠・出産、異常の早期発見により健全な子どもの育成に役立っています。</p>		
④自殺対策推進事業	所管名	健康医療課
《事業概要》	平成 21 年度予算	5,167 千円
<p>平成 20 年度に策定した自殺対策推進計画に基づいて、「孤立を防ぐ」をキーワードに、サポート体制の充実を図ることによって、本市における自殺者数の減少を目指します。</p>		
市戦略対象事業		マニフェスト対象事業

健康医療部戦略計画 2009 評価レポート

《事業成果》	平成 21 年度決算	4,180 千円
<p>平成 20 年度に策定した浜松市自殺対策推進計画に基づき、浜松市自殺対策連携会議を設立して関係機関との連携を図りました。</p> <p>また、「いのちをつなぐ手紙」事業をはじめ、シンボルマークの制定や啓発ポスターを作製するなど市民への普及啓発を図るとともに、悩みを持つ市民に相談機関の周知などを行いました。</p> <p>平成 21 年度の本市の自殺者は 164 人で、前年に比べて約 2 割増となっていることから、今後も自殺者の減少に向けて対策に取り組んでいきます。</p>		

⑤救急医療事業	所管名	健康医療課	
《事業概要》	平成 21 年度予算	403,198 千円	
<p>夜間、土曜日の午後及び休日の初期救急患者の医療提供を行う 1 次救急から 3 次救急(救命救急センター)までの救急体制を安定的に運営することにより、地域住民が安心できる医療を提供します。また、保健医療審議会から「浜松市における第 2 次救急医療体制について」再構築の提言を受け、市域全体の 2 次救急体制について検討し可能なことから取り組んでいきます。</p> <p>このほか、施設の老朽化、手狭などから夜間救急室を移転して、初期救急体制の整備を進めることにより、市民に安定的な医療の提供を行います。</p>			
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業	I - 1
《事業成果》	平成 21 年度決算	392,088 千円	
<p>夜間救急室の運営をはじめ、土曜・休日の救急、2 次救急医療体制を確保するための事業を実施しました。</p> <p>第 2 次救急医療体制については、救急医療を担う病院の状況が刻々と変化しており、現状に応じた検討を引き続き行っていく必要があります。</p> <p>そうしたなかで、初期救急を担う夜間救急室を新医師会館のなかに移転し、更なる医師会の協力の下に安定的な医療体制の確保のための基礎を築くことができました。</p>			

⑥メディカルバースセンター運営助成事業	所管名	新法人設立準備課	
《事業概要》	平成 21 年度予算	46,288 千円	
<p>メディカルバースセンター(医療センター内の地域周産期母子センターと小児科病棟に併設し、助産師が中心となり正常分娩等を取り扱う施設)の運営をする医療センターに対して助成をして、安全・安心に出産できる産科医療を提供していきます。</p>			
市戦略対象事業	戦略 2	マニフェスト対象事業	I - 1
《事業成果》	平成 21 年度決算	46,288 千円	
<p>浜松医療センターにおいて、地域周産期母子センターや小児病棟と同じフロアに「メディカルバースセンター」を平成 21 年 4 月に開設しました。これにより、産科医や小児科医のフォロー体制のもとに助産師が中心となって自然分娩を取り扱う施設が整い、安心して産み育てられる環境の充実が図られました。</p>			

健康医療部戦略計画 2009 評価レポート

⑦精神障害者自立支援給付事業	所管名	保健予防課
《事業概要》	平成 21 年度予算	1,189,112 千円
障害者自立支援法の規定に基づく精神科通院医療、福祉サービスを受けている方などに対して、支援をしていきます。		
市戦略対象事業	戦略 3	マニフェスト対象事業 II-4
《事業成果》	平成 21 年度決算	1,139,961 千円
<p>自立支援(精神通院医療)の支給決定を受けた精神に障害のある人の医療費の負担を軽減しました。</p> <p>また、障害のため日常生活を営むのに支障がある方が利用する介護給付事業、共同生活を営んだり就労を希望する方が利用する訓練等給付事業、障害のある方の社会参加を促す地域生活支援事業等の福祉サービスに要する経費を給付(延べ 4,808 人に給付)することにより、安定した日常生活を営むことができるよう、自立と社会復帰を促進しました。</p>		

⑧精神保健福祉推進事業	所管名	精神保健福祉センター
《事業概要》	平成 21 年度予算	10,224 千円
「自死遺族」「アルコール薬物」等の特定相談事業や家族教室の開催、講演会などの普及啓発事業や自殺予防事業を実施するとともに、関係職員や福祉事務所職員等に対する教育研修事業を実施します。		
市戦略対象事業		マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	9,343 千円
<p>特定相談事業を実施しました。家族教室(延べ 521 人参加)を開催し精神障害についての正しい知識の普及を図ることや、各種講演会(延べ 2,078 人参加)などを開催して精神保健福祉に関しての普及啓発を図りました。関係職員や福祉事務所職員等に対しては、専門的な立場から、技術指導(63回)または教育研修事業(19回 延べ 700 人参加)を実施しました。</p> <p>自殺対策事業として、いのちをつなぐ手紙事業等を新規に実施し、自殺対策の推進を図りました。</p>		

【参考】	
◆市戦略計画 2009	◆マニフェスト(市長の政策提言)
戦略 1 アジアで一番輝くものづくり都市の創造 戦略 2 地域力を結集して取り組む“こども第一主義” 戦略 3 暮らし満足度向上計画 戦略 4 次世代に継承する天竜川・浜名湖の自然 戦略 5 文化が都市の活力を生む「創造都市」の実現 戦略 6 世界を身近に感じる交流都市づくり	(3つの基本姿勢) (7つの挑戦) I こども第一主義 1 子育て世代を全力で応援 2 地域一体の教育で未来の浜松をつくる II 暮らし満足度向上計画 3 住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」 4 安全・安心の医療と介護 III 07 浜松改革元年 5 スピードある行財政改革で必要な財源をつくる 6 地元産業のさらなる発展を市長みずから先頭に立つ 7 トップが動く、浜松が変わる

部局総合評価

指標の達成状況評価と戦略計画の改善策

目標達成状況(指標の平成 21 年度目標達成状況)				
	目標より進んでいる	目標どおり	目標より遅れている	計
指標数	1	1	2	4
率(%)	25	25	50	100
《自己評価》(目標達成状況についてどのように考えるか)				
<p>「健康はままつ21」については、各種事業に取り組んで市民の健康づくりを進めましたが、指標を認知度としたことから数値の上では難しい結果となってしまいました。事業実施の際には、「健康はままつ21」計画によるものとして周知をしていたものの、市民全体へ知られる広がりとして達成できませんでした。適切な指標について見直しを検討していきたいと考えます。</p> <p>医療体制等については、病院の外来患者数は概ね目標通りである一方、病床利用率は目標を 1.8% 下回り、昨年度をも下回っています。8割を超える利用率は、市民の医療に対する需要にある程度応えていると考えていますが、経営面からは更に利用率アップを図っていく必要があると考えます。</p> <p>なお、医療施設等の監視件数は保健所浜北支所との連携強化により、効率的な監視に努めた結果、目標を上回ることができました。</p>				

今後の考え方(評価を踏まえた戦略・政策についての改善の方針)

指標の設定については、昨年の外部評価でも市全体を捉えるような検討を指摘されていることから見直す必要があると考えています。今後、その機会を捉えて検討していきます。

「健康はままつ21」として、市民の健康づくりを進めてきましたが、さらに食育、自殺対策、禁煙などの事業についても周知を図り、取り組みを進めます。また、健康診断の受診率向上は大きな課題であることから、普及啓発に努めていきます。

医療に関しては、各病院の経営改善を進めるとともに、限られた医療資源を有効に利用していくために、コンビニ受診の抑制など医療を受ける側の協力が得られるような方策を検討していきます。